



テーマ 本気の大人が子どもを変える！成長しよう。共に！

岐北中学校

登壇者：高橋直樹 加藤基憲 長野葉子 野々村光 野々村誓子 早川和美 小枝理恵

【はじめに】

岐北中学校は市内北部、^{ごもやま}御望山の麓に位置しています。4校の小学校が集まり、全校生徒は631名です。昭和48年からハートフル活動を通して、人権教育に対する理解を深めています。またコミュニティースクール活動により、地域とも積極に関わっています。

学校の教育目標は「自己を見つめ、仲間と共に高め合う生徒」です。生徒会の活動は、3本柱として「挨拶・掃除・合唱」として取り組んでいます。学校・保護者が見守り、支えていく中で、生徒たちが自主性をもって行事に取り組んでいけるよう、話し合いを行いながら改善をしていく大切さを感じています。

【改革】

平成28年度第1回執行部会では「成長しよう」のスローガンのもと会議と行事の見直しから始めました。

1 会議

- ・役員の役割や考え方にバラツキがある
→自覚と責任を持つ
- ・専門委員会が個々で活動
→各委員会を本部役員がサポート
- ・月に2回の会議
→事前に議事を把握し、報告の時間を短縮することで執行部員全員が集まる月に1回の開催へ

役員の負担を減らしながらも、効率よく成果をあげたい。より良い活動を目指して、個々が積極的に関わる「本気」が必要であることを確認しました。



PTA 役員一人ひとりのカラーを發揮しながら、本気で取り組む覚悟が必要！

2 御望山行事

PTA 主催行事を、学校の裏にある御望山にちなんで「御望山の会」と称して親子で共に挑戦し、コミュニケーションのきっかけとなるような行事に取り組んでいます。

疑問点・課題

- ・趣旨は何か
- ・生徒に伝えたいことは何か
- ・前年度にならえになっていないか

行事に取り組む際、生徒・教師・保護者が目標を共有化できれば、より良い活動となる。そのためには意見交換の場を設ける必要性があると考えました。

～STP 会議の誕生～

平成27年度、広報委員会の企画から STP 対談が誕生しました。三者が同じ目線で語る場を設け、目標の共有化を図ることで「生徒の思い・教師の願い・保護者の期待」など活発な意見交換が行われたため、行事の際に STP 会議として位置づけることにしました。



御望山の会

- 花の苗植え ●自立記念日
- 大人から学ぶ会
- 高校見学会

～STP 会議の成果～

花の苗植え

生徒会中心に事前準備から当日の進行まで、生徒が主体的に取り組めるよう工夫

- ▽作業エリアを分ける
- ▽ちよぼら（ちょっとしたボランティア）カードを事前に集め、当日の混乱を防ぐ

→300名を超える生徒が参加

自立記念日（お弁当の日）

- ▽食事ができる有り難さを感じてほしい
- ▽震災時に生き延びる力をつけてほしい

アンケートを実施したことで、お米を研いだことがない生徒がいることが分かった。

これを踏まえて

自分でお米を炊きおにぎりを作ることをスローガンとした。

→行事の振り返りをする事で次の課題を見つけ、次へ繋げることができた

【見えてきた課題】

このような活動を通じて、私たちは多くのことを学びました。だからこそ、より多くの保護者に PTA 活動に関心を持ってもらうためにはどうしたら良いか・・・今後の課題が明確になりました。

【伝えたい本気とは】

子どもと共に成長の機会となるのが PTA 活動だと考えます。私たちは、親となったからこそ学びや気づきが必要であり、共に成長し続けていかなければなりません。子どものために本気で取り組む親の姿に、子どもたちも何か思うはずです。もっと子どもに積極的に関わることで PTA はさらに活気のあるものになると思います。そのために「覚悟」が必要で、そのキーワードが「本気」です。活動に参加することで、子どもの生き生きとした姿を見ることができ、地域で活躍する姿を知ることが出来ます。PTA 活動を理解し協力して下さる先生方や、地域の方々のサポートを受けながら、私たちも家庭力を上げていく必要を感じています。私たち岐北中学校 PTA は、この「本気」を今後も継承していきたいと思っています。